



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 454 (2017. 1. 23)

<今週のトピックス>

トランプ大統領就任

1月20日、ワシントンにて第45代米国大統領の就任式が行われドナルド・トランプ氏が大統領に就任しました。当日や翌土曜日は各地で反トランプ派によるデモが行われるなど、8年前のオバマ氏就任時とは全く異なる雰囲気の中、就任式は執り行われました。沿道の傍聴席には、空席も見られ、ニューヨークのローカルニュースでは8年前の満席の状況と今回の状況を写真で比較しているものもありました。

選挙期間中は過激な発言で有権者の支持を集めたトランプ大統領が、就任演説でどのような話をするかというのは、注目点のひとつでした。さすがに選挙時の演説よりは常識的になったといえるものの、国民の融和に関するくだりはわずか一文しかなく、国内統治では官僚から国民へ、経済状況では米国から仮想敵国へ、奪われたものを奪還するというポピュリズムを強く打ち出す姿勢に変化はありませんでした。

経済と安全保障を同一のテーブルに上げ、「自国の国境は守らず、他国の国境を守り」「国内のインフラ整備を放置したまま、海外で多額の資金を費やし」「米国のミドルクラスの富を全世界で再分配している」状況から、「アメリカファーストへの変化」と論じています。

ホワイトハウスのHPによるとトランプ大統領の政策課題は、

1. America First Energy Plan エネルギープラン
2. America First Foreign Policy 外交
3. Bringing back Jobs and Growth 雇用と成長
4. Making our military strong again 強い軍隊
5. Standing up for our law Enforcement community 治安
6. Trade deals working for all Americans 貿易、通商

となっています。

産業と雇用の保護を目的とした貿易政策を追求することを明確としているトランプ政権において、TPP脱退とNAFTA再交渉が最も明確な改革で、TPPについては既に離脱を宣言、NAFTAについても近日中に交渉を開始したい意向ですが、今後どのように再構築されるかについては不明瞭な点が多く今後注目が集まります。NAFTA再交渉自体は大統領権限にて可能ですが、新たな内容の批准については議会の承認が必要となります。

<主要マーケット指標>

	1月9日(月)	1月10日(火)	1月11日(水)	1月12日(木)	1月13日(金)
USD/円	116.03	115.77	115.41	114.72	114.38
ユーロ/USD	1.057	1.056	1.058	1.061	1.064
ダウ	19,887.38	19,885.53	19,954.28	19,891.00	19,885.73
S&P500	2,268.90	2,268.90	2,275.32	2,270.44	2,274.64
Nasdaq	5,531.82	5,551.82	5,563.65	5,547.49	5,574.12
Treasury 10Y	2.371	2.384	2.363	2.365	2.396
Treasury 30Y	2.965	2.974	2.945	2.961	2.989

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できるとされる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。